

# 一般会計補正予算20億6,400万円

## 耐震性防火水槽38基築造など

### = 9月市議会定例会おわる =

昭和52年9月富士市議会定例会は9月21日から9月30日まで開かれ、提出議案31件をいずれも原案どおり可決しました。こんど提出された主な案件は、51年度水道事業会計決算および51年度病院事業会計決算認定52年度一般会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算など7件、条例の一部改正など10件、工事請負契約など11件、財産処分1件となっています。

このほか請願書1件、陳情書22件が一括上程され四常任委員会の審議を経てそれぞれ採決されました。特に今回の一般会計補正予算では、歳入歳出それぞれ20億6,400万円を追

加し、これで一般会計歳入歳出予算総額は244億7,150万円になりました。歳出の主なもの、次のとおりです。

- ・土地区画整理費 3億1,300万円
- ・道路新設改良費 2億1,827万円  
(舗装新設、新設改良工事など)
- ・消防施設費 2億1,480万円  
(耐震性防火水槽100トン15基、40トン23基などを築造)
- ・河川維持改良費 2億825万円
- ・新設高等学校関連整備費 1億4,685万円
- ・道路維持費 9,850万円  
(市道舗装、補修工事など)
- ・公園整備費 7,140万円

- ・学校管理費 4,481万円  
(便所水洗化改造工事や校舎等の維持補修など)
- ・幼稚園費 4,309万円  
(便所水洗化改造工事など)
- ・住宅管理費 4,236万円
- ・病院運営費 4,000万円
- ・土地改良費 3,400万円  
(土地改良工事など)
- ・港湾整備費 3,129万円
- ・交通安全施設整備費 2,383万円
- ・農林水産業施設災害復旧費 2,142万円
- ・都市計画総務費 2,104万円  
(都市計画図作成委託料など)
- ・防災費 1,625万円

### 歳入

(単位千円)

款	補正前の額	補正額	計
市 税	12,174,225	479,982	12,654,207
地方譲与税	205,000		205,000
娯楽施設利 用税交付金	30,000		30,000
自動車取得税 交付金	220,000		220,000
地方交付税	40,000		40,000
交通安全対策 特別交付金	33,000	14,677	47,677
分担金及び 負担金	749,663	5,600	755,263
使用料及び 手数料	388,999		388,999
国庫支出金	3,139,271	120,313	3,259,584
県支出金	529,588	57,951	587,539
財産収入	71,246	238,960	310,206
寄付金	11,103	13,630	24,733
繰入金	19,000	500	19,500
繰越金	674,000	630,715	1,304,715
諸収入	2,054,905	48,572	2,103,477
市 債	2,067,500	453,100	2,520,600
<b>歳入合計</b>	<b>22,407,500</b>	<b>2,064,000</b>	<b>24,471,500</b>

### 歳出

(単位千円)

款	補正前の額	補正額	計
議 会 費	291,299		291,299
総 務 費	2,330,939	182,842	2,513,781
民 生 費	3,482,183	16,308	3,498,491
衛 生 費	2,221,562	59,957	2,281,519
労 働 費	141,587	968	142,555
農林水産業費	698,110	63,889	761,999
商 工 費	916,718	2,690	919,408
土 木 費	4,936,945	1,095,380	6,032,325
消 防 費	898,379	233,520	1,131,899
教 育 費	4,961,884	120,507	5,082,391
災害復旧費	182,749	21,423	204,172
公 債 費	1,313,935	266,367	1,580,302
諸支出金	14,500		14,500
予 備 費	16,710	149	16,859
<b>歳出合計</b>	<b>22,407,500</b>	<b>2,064,000</b>	<b>24,471,500</b>

## 水道事業会計 =51年度実績=

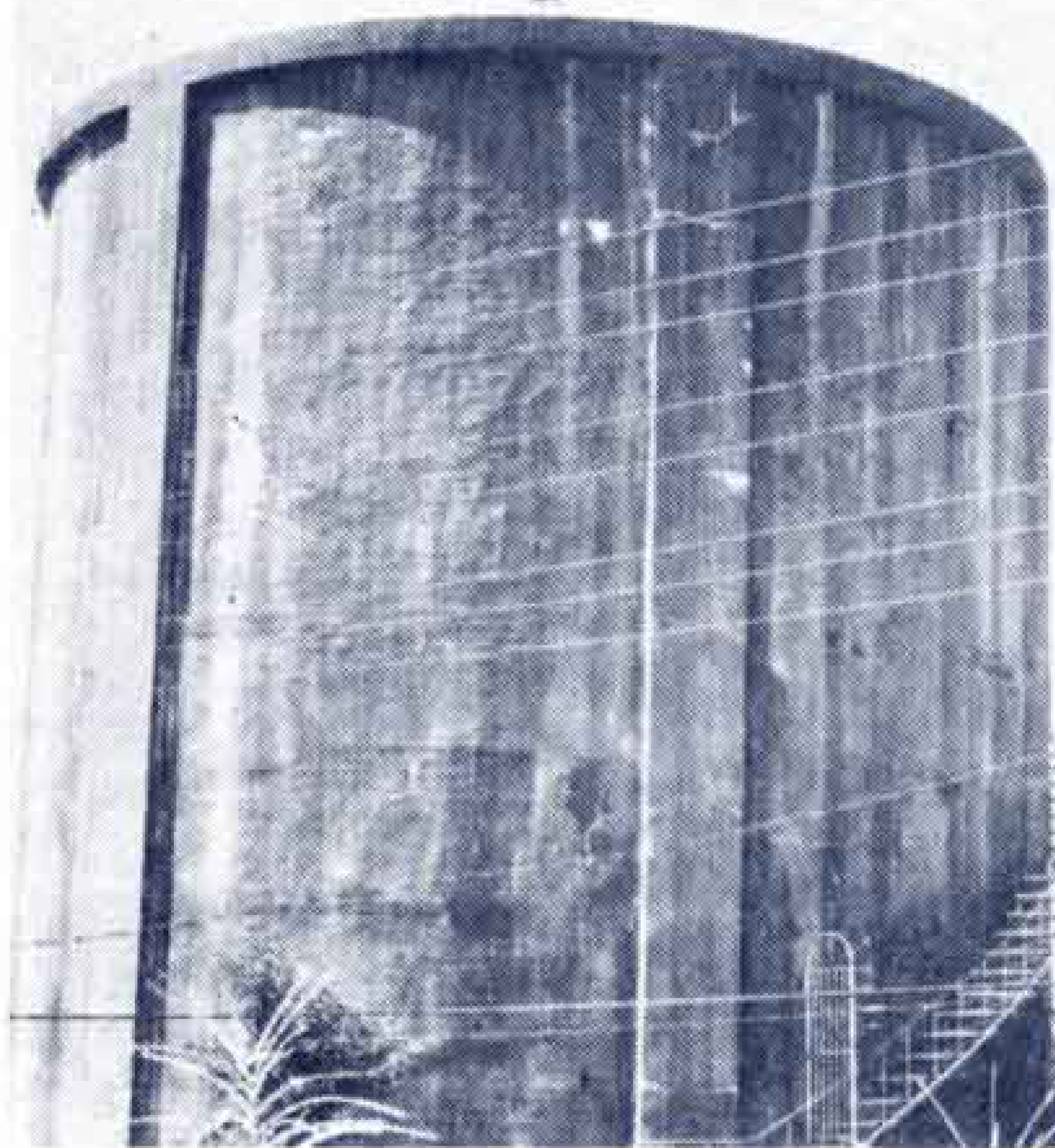
# 給水人口は16万9,000人 営業収益 9億3,000万円

富士市水道事業会計決算については、51年度末の給水人口は16万9038人で、前年度にくらべ2,991人(1.8%)増加しており、計画給水人口21万3,000人に対する普及率79.4%(前年度78%)となっています。また給水戸数は4万8,824戸で、前年度より1,498戸(3.2%)増加しています。

### ◆収益的収入及び支出

51年度決算額は、営業収益においては9億3,196万円で対予算比率101.2%、営業外収益1億917万円で、対予算比率87.6%となっています。一方営業費用は7億4,307万円で対予算比率97%、営業外費用は2億7,416万円

で対予算比率98.3%、決算総額は10億4,113万円、事業費用の10億1,723万円を差引き2,390万円の純利益と



なっています。

### ◆資本的収入及び支出

本年度は、第4次拡張事業も6年目をむかえ将来予測される高台の減水地区の水源確保として深水戸2カ所、さくせんし、取水施設の整備、これに付帯する配水管網の整備等また、施設の水源管理の近代化を目的とした遠方監視設備を本年度から2カ年継続事業として施工しました。

これに対する財源は、企業債5億円、負担金982万円を主とし、支出は当初5億1,164万円で補正1億5,227万円を増額し合計6億6,391万円の予算となりました。これに対し決算額は収入5億840万円、支出6億5,556万円で資本的収入に対し資本的支出超過額の1億4,751万円は本年度損益勘定留保資金1億3,879万円と建設改良積立金972万円で補てんされています。

## 病院事業会計 =51年度実績=

# 入院患者は 8万7,000人 外来患者は17万4,000人

市立富士中央病院事業会計については、51年度の患者数は年間26万2626人で前年にくらべ1万1,889人(4.7%)の増加となっています。一日平均数においては829.2人で前年度の794.5人にくらべ34.7人の増。この内訳は、入院患者で年間8万7,818人前年度にくらべ9,492人(12.1%)と大巾に増加しており、一日平均数240.6人で前年度にくらべ26.6人増加しています。また外来患者は、17万4,808人で前年にくらべ2,397人(1.4%)と増加しており、一日平均数588.6人で前年にくらべ1.4%と僅かながら増加となっています。増加の理由として、前年度は一時内科の入院閉鎖、外来の診療制限をしたが、51年度は平常通り診療したのと、年度中途から脳神経外科の開設による

ものです。

### ◆収益的収入及び支出

51年度当初19億6,056万円の事業収益を見込んで開始したが、補正3回で1億5,250万円増額し、事業費用も1億5,250万円追加補正し、最終予算は収益費用とも21億1,306万円となりました。決算総額は、事業収益21億2,424万円、事業費用の20億9,826万円を差引き2,597万円の純利益を計上しました。

### ◆資本的収入及び支出

51年度は脳神経外科開設等に伴う積極的な医療器械備品の整備充実、中央検査消毒室増築工事等に対処するため、企業債5,000万円、一般会計からの出資金1,400万円等を財源

として建設改良費9,159万円、企業債償還金3,101万円と割賦償還金234万円を支出しています。建設改良費の主なものは、中央検査消毒室増築工事、本館昇降機改修工事等1,296万円と自動化学分析装置、血球計数器、回診用X線装置、脳神経外科用機械備品等の固定資産購入費7,863万円となっています。なお資本的収入に対し、資本的支出超過額の6,062



万円は、前年度分損益勘定留保資金3,283万円および51年度分損益勘定留保資金2,779万円で補てんされています。